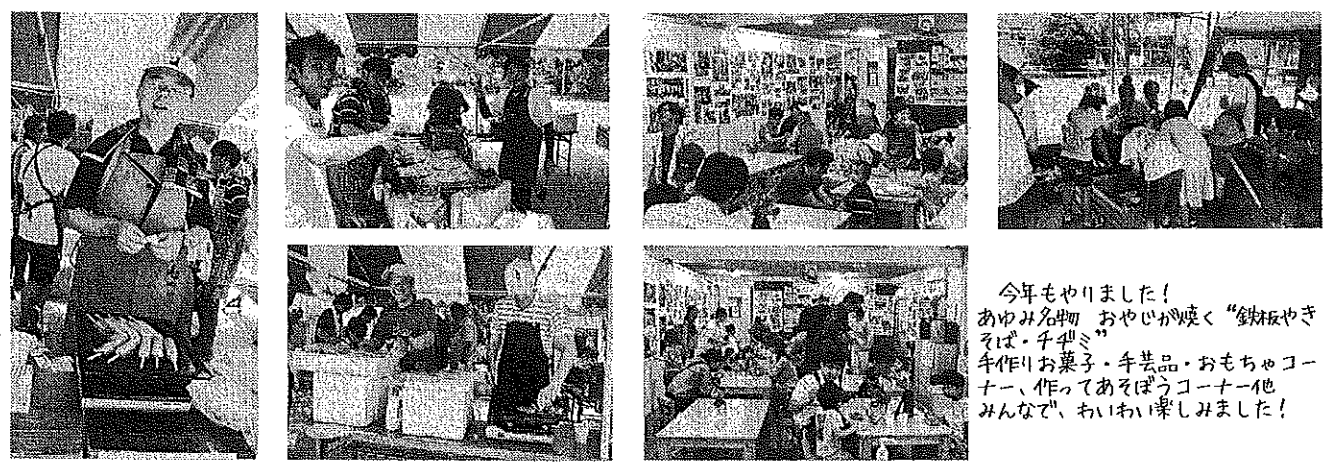


みんなであゆみ

今年後援会会員
315名
(目標1000名)

第37回 あゆみまつり (6月1日)

テーマ 「からだど知恵を使い なかまと一緒に楽しいおそびをたっぴりと」



今年もやりました！
あゆみ名物 おやじかみくく「鉄板焼きそば・手割ミ」
手作りお菓子・手芸品・おもちゃコーナー、作ってあそぼうコーナー他
みんなで、わいわい楽しみました！

くじらぐみ (年長クラス) 恒例、夏のキャンプ、週末の天気が荒れ模様の夏でしたが、保育園のキャンプは二日目の朝は少し雨が降りましたが、無事行うことができました。(学童クラブのキャンプは、悪天候で残念ながら中止になりました。)
今年も年長児13名、お父さん12名、保育士4名で山の自然を満喫してきました。子どもたちは、自分のお父さんに頼るのではなく、グループの仲間と力を合わせているいろいろなことをやりきり自信をつけることができました。

野呂川ダムで泳いだり、初めてのテントに大喜びに子どもたち。虫取りやスイカ割り、エルマーの探検(お父さんたちがらいおん・トラ・ごりら・ワニ・サイなどに 変身して演じてくださいました)で取り組んできた弓矢で動物を退治して、エルマーとりゅうを助けて無事全員がケン玉をもらいました。夕食のカレーづくり、飯盒のご飯、キャンプファイヤー、きれいな星空(天の川がみえました!)…たのしい体験をいっぱいすることができ、お父さん方に感謝です。

くじらぐみ「野呂山キャンプ」(7月26・27日)



2014年度あゆみ後援会会費をお願いします。
年会費 一口 1000円
郵便振込先
口座記号・番号 01300-9-65126
加入者名 あゆみ後援会
直接保育園へもってきていただいても構いません。
今年度も会員を継続していただき、「あゆみ」をみんなで応援していただきますようお願い致します。

行事のお知らせ
あゆみ「うんどうかい」のごあんない
とき 10月19日(日) 9:00~11:30
ところ 前の公園(雨天の場合 庄山田小学校体育館)
*卒園児・未就園児のみなさん、多数ご参加ください

会費納入のお願い

●8月2~4日に福岡で開かれた全国保育団体合同研究会に参加させていただきました。オープニングでは、子どもたちの歌声や保育士、保護者の方などのお話を聞かせていただき、元氣と感動をもらったり、保育のあり方についても一度考えたりすることができました。分科会では、「こあそび・劇あそびがテーマの会に参加し、こあそびの意義について知ることができました。最終日はアーサー・ピナードさんの講演を聞き、子どもたちの未来を守るために受け身のままではいられないと考えさせられました。この3日間、自分の今までの保育について見つめ直すことができ、新たな視点を学ぶことができました。また、今まで身近に感じることができなかった保育新制度や集団的自衛権などについて改めて考えさせられ、自分にできることをしていきたいと感じました。また、子どもたちに願いを持つて保育をし、ともに成長していきたいと思いました。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。」

林 真奈美

●全国の保育関係者の仲間たちと共に学び合った3日間。びっくりすること、考えさせられること、励まされたこと、涙が出ることもありました。

まず、一番びっくりしたことは貧困の問題です。生活保護を受給しても、人間らしい生活が保証されない子どもが居る事に胸を締め付けられました。子育てに世代に優しい社会をと言っている割に、新しい保育制度案は保育施設に保育を丸投げにする内容で、子どもたちを取り巻く

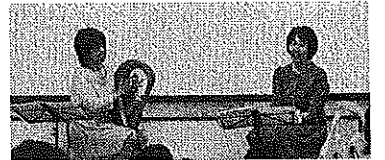
環境を良いものにするための改善要求を主張していかなければならぬと思いました。また、児童福祉法24条1項「市町村が保育を実施するという内容」を残すために様々な運動や働きかけをしてくださった方々に感謝しながら保育していこうと思えます。

基礎講座では、子どもに寄り添う気持ちが何より大切だと、改めて感じました。子どもたちが主人公の楽しい活動しようという気持ちは常に持っているつもりですが、忙しい毎日でつい子どもの気持ちがおいてけぼりになってしまっていたり、時間で支配してしまったり、いけないとわかっているだけに、改めて「○○してしまっているのか?」と問いかけられると、胸に突き刺さり

ます。また、楽しい遊びの例にはあゆみで取り組んでいることがたくさん挙げられ、先輩の先生方が築いて来られた歴史を誇りに思い、先生方から学びたい気持ちも高まりました。実りある3日間をありがとうございました。

荒谷 温子

総会当日、呉市在住のライアー奏者 村岡康子氏によるミニ演奏会を行いました。ほとんどの人が初めてというハープの小型のような楽器で、柔らかな音色に心が癒されました。



ライアーコンサート

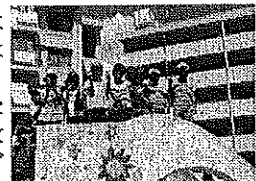
第11回 あゆみ後援会総会報告

5月17日第11回あゆみ後援会総会を開催しました。2013年度は後援会会費の納入率が55%と低く、また例年行ってきた年末カンパのお願いをしていなかったこともあり収入不足でした。

今年度は、社会福祉法人たまご会と統合して認可を目指すというとても大きな目標があります、そのための資金も必要になってきます。後援会員の皆様には、例年以上のご支援・ご協力をお願いしたいと思っています。

いさいさサロン "さんぼ"
「ヘルパーステーションさんぼ」が主催しているサロンです。また、介護保険は使えないけど、人といっしょに何かをして楽しみたいと思っていられる方、ちょっとのぞいてみようかなという方、どなたでも参加してください。
サロン3回目は 歌とフラダンスです
日時 9月20日(土) 10:00~11:30
講師 ビアノ様 神崎文子先生 フラダンス指導 雨原真子先生
会場 志歩み児童園(0946-6-77)
参加費 500円
志歩み児童園、その前は児童福祉会、親子・大人の両方で楽しく行っています。参加費の負担もありません。お気軽に出てください。お気軽にご参加ください。

あゆみのねんらくちゅう
☆荒れていた時っていつ?
8月19日飛行機公園に行った帰りの出来事です。「ねえねえ、みんなが荒れとったときっていつ?」という誰かの一言。「私は今よ!」自信満々のUちゃん(笑)「私は去年だったかな?」どう思う?とYちゃん。「私は、2年生の時が口が悪かったよ」とあのころを思い出し笑うSちゃん。「俺は絶対!去年!3年生の時!」周りも笑って本人も思い出して笑っていたRくん。「俺も去年に比べたら、字とかきれいになったよ」とHKくん。今とっても勉強頑張っているね!
帰りに道にみんなの話を聞きながら、「うんうん、その通りだよ。あの時は大変だったよ」と当時を思い出し、そのときの光景がよみがえりました。そして、自分の事をふりかえってあのころはこうだった、ああだった、ああすればよかったと自分で思えるのは何と成長ものだ〜と大変うれしく感じました。
● どの子にも、個人差はあるものの必ず訪れる反抗期や思春期。難しい年ごろになって大人も「どう接したらいいんだろう」と悩む事もあると思います。私も、どう言ったら伝わるんだろうと試行錯誤で、時には間違った対応をしてしまい後悔することも数えきれないほどあります。でも、子ども自身も悩んでいることと思います。伝えたいけど伝え方が分からない、わかっているけど気持ちがついていけない。この度、子どもたちの話を聞いて、あの時はこう思っていたんだと、伝わってきました。



あゆみ学童クラブ通信(8月31日)より

「あゆみと私」 小出 康子

いつもお世話になっております。今年卒園致しました、小出崇弘の母です。夏休みは学童でお世話になります。原稿の依頼に何を書こうかと思いましたが、崇弘ネタを書かせて頂きます。4月より僅か3ヶ月ですが、すでに色々な事がありました。他人様の子供なら可愛いわね〜と笑ってしまえることですが、毎日何かやらかすのではとときどきです。

最初の一週間は張り切って学校に一人ですたすたと行つて、頼もしいわ〜と思つていたのも束の間、金曜日に先生が黒板に持つて帰るものを、体操服と上履きと書き出されたのを見て、確かに2つは持つて帰りました。ランドセルを持つた私は、随分軽いなと思ひ、開けてびっくり。教科書を全て忘れて帰つてきました(笑)おまけにプリント類も全て入つておらず、これじゃ次週の時間割も分からず、おばあちゃんに取りに行つてもらいました。これ以外にも色々忘れてきました。筆箱に持つて帰る物のメモを入れたりして、ちよつとずつ克服しつつあります。

5月に入つてからは早くも登校拒否です。これは悩ましい事態です。今はまだ親の言うことを聞くので、休まず行つていますが、毎朝決まつて、絶対今日は行かんから、と言います。どうも、元氣のいい子が同じクラスに集まつている様子で、叫びたり、押しつたり、小競り合いが多いようです。相手の子供の発する台詞に、殺すとか、海に投げ込むといった言葉が含まれていて、怖くなり先生に相談したりもしましたが、先生にしてみれば、どの子も可愛い1年生です。先生の立場も分るので、それ以上は言えません。未だに毎日帰つて来るなり、○○君が××した、もう、行きたくない、と訴えます。本人にとっては、もの凄くストレスなんでしょうね。心が痛みます。

人の気持ちの方が分りにくい崇弘にはかなりしんどい状況です。聞き流せたらどんなにか楽でしょう。話を聞くことしかできない頼りない親ですが、これから親子で修行です。そんなこんなで、やっと夏休みといったところです。学童には毎日嫌がらず行つていて、ほつとしています。9月が来るのが憂鬱です。(笑、愚痴だらけですみません) 1日も早く、思い出に変わる日を楽しみにしています。